

美唄市公営住宅建替え基本構想

第2回 市民検討委員会

北海道大学建築計画学研究室

2023年10月4日(水)

- 本日の内容 -

01. 本構想の主旨・前提条件の確認

02. 導入想定機能＋事例紹介

03. ゾーニングの方針について

04. ワークショップ

05. 第3回市民検討委員会に向けて

01. 本構想の主旨・前提条件の確認

老朽化が著しい
公営住宅の
建替え・集約

+

美唄市
中心市街地の
賑わい創出

老朽化が進んだ
いなほ団地/進徳東団地/南美唄団地を
中心市街地に集約し建替えることで
生活利便性を向上させる

公営住宅の集約のみならず
広く美唄市民が価値を享受できる施設を
複合的に配置していくことによって
中心市街地に賑わいをもたらす拠点とする

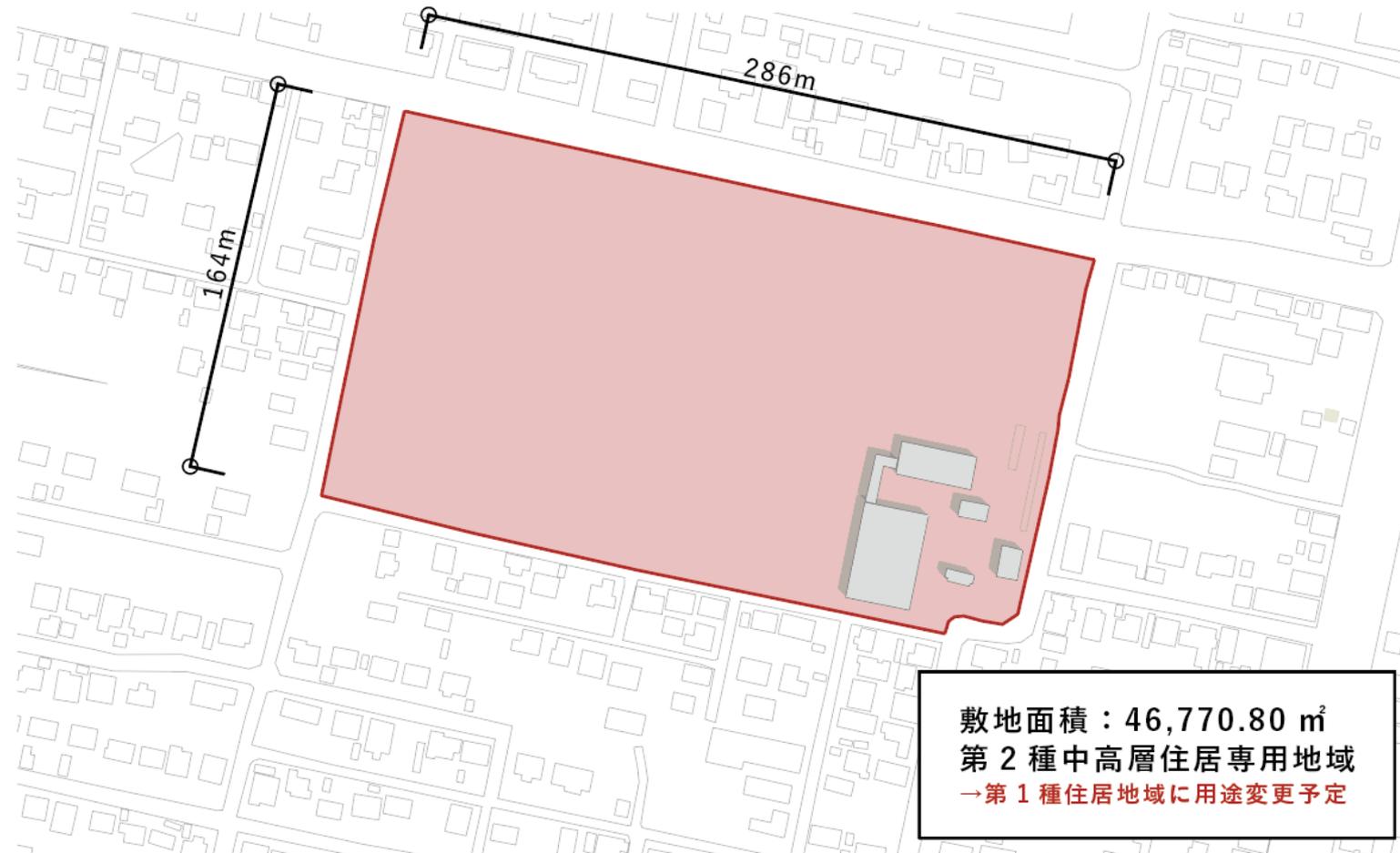
01. 本構想の主旨・前提条件の確認

□ 計画敷地：旧美唄工業高校跡地



01. 本構想の主旨・前提条件の確認

□ 計画敷地：旧美唄工業高校跡地



01. 本構想の主旨・前提条件の確認

① 70-80戸程度の公営住宅を新設する

老朽化が著しい「いなほ団地」「進徳東団地」「南美唄団地」の建替え移転を行う。
戸数は今後の人口ビジョン等を踏まえ、70-80戸程度を想定している。
子育て世帯向けの公営住宅の設置も検討する。

② 中心市街地の賑わいに資する施設を配置する

公営住宅以外にも商業機能や子供向け機能・公園等の機能を導入し、
広く市民が価値を享受することが出来るようなエリアづくりを目指す。

③ 敷地周辺道路を拡幅する

敷地周辺道路は北面を除いて非常に狭く日常生活に支障をきたしている。
これを踏まえ、幅員が8m程度になるよう周辺道路を拡幅する。

④ 体育センターは解体せずに既存施設を活用する

旧美唄工業高校の体育館は現在クライミングウォールを中心とした活用がされている。
この体育センターは解体せずに引き続き市民の運動スペースとして活用する。

01. 本構想の主旨・前提条件の確認

※周辺道路の拡幅イメージ



02. 導入想定機能 + 事例紹介

第1回市民検討委員会が出たアイデア



02. 導入想定機能 + 事例紹介

事例①

公営住宅の現状（構造・階数）

北海道内各地

公営住宅

簡易耐火構造平屋建て（耐用年数：30年）



簡易耐火構造二階建て（耐用年数：45年）



02. 導入想定機能 + 事例紹介

事例 ①

公営住宅の現状（構造・階数）

北海道内各地

公営住宅

中層耐火構造（3～5階建て）（耐用年数：70年）



高層耐火構造（6階建て以上）（耐用年数：70年）



02. 導入想定機能 + 事例紹介

事例①	公営住宅の現状（構造・階数）	北海道内各地	公営住宅
-----	----------------	--------	------

低層耐火構造、低層準耐火構造（平屋建て、2階建て）（耐用年数：70年、45年）



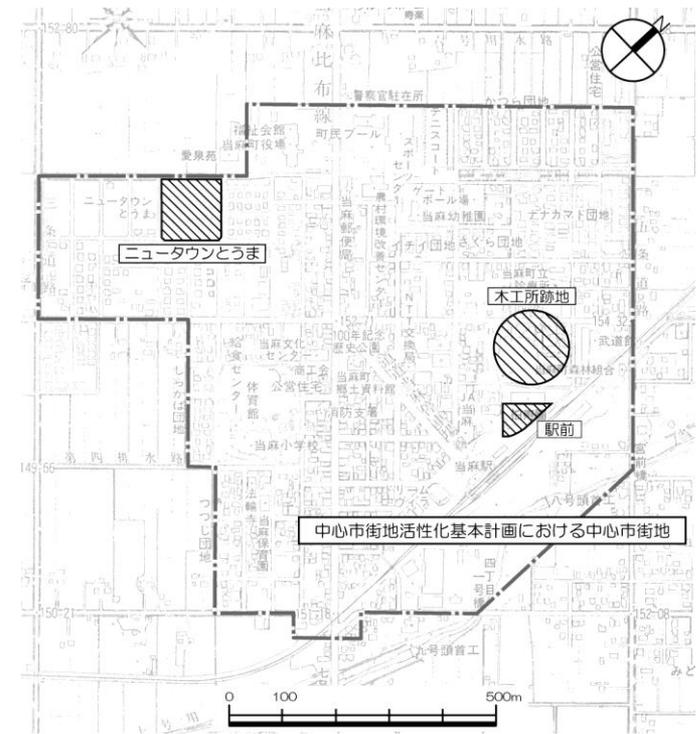
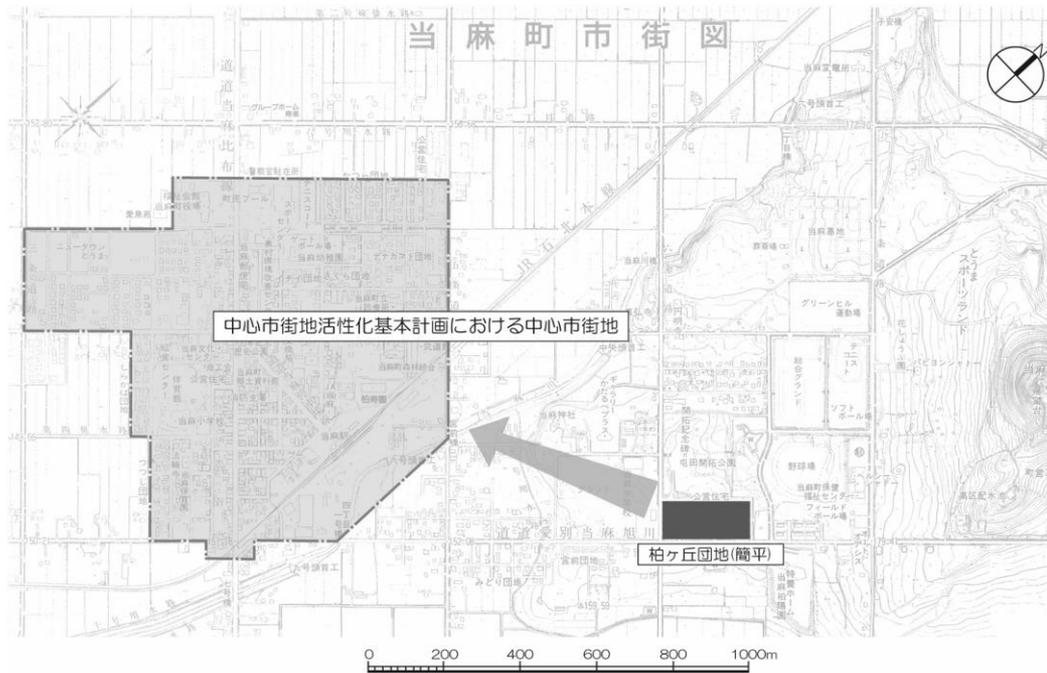
低層木造（平屋建て、2階建て）（耐用年数：30年）



02. 導入想定機能 + 事例紹介

事例②	まちなかへの公営住宅移転建替え	北海道当麻町	公営住宅
-----	-----------------	--------	------

【当麻町公営住宅等長寿命化計画】



02. 導入想定機能 + 事例紹介

事例②

まちなかへの公営住宅移転建替え

北海道当麻町

公営住宅

【当麻町駅前団地/ニュータウン団地】



当麻町駅前団地



当麻町ニュータウン団地



移転元：柏ヶ丘団地

02. 導入想定機能 + 事例紹介

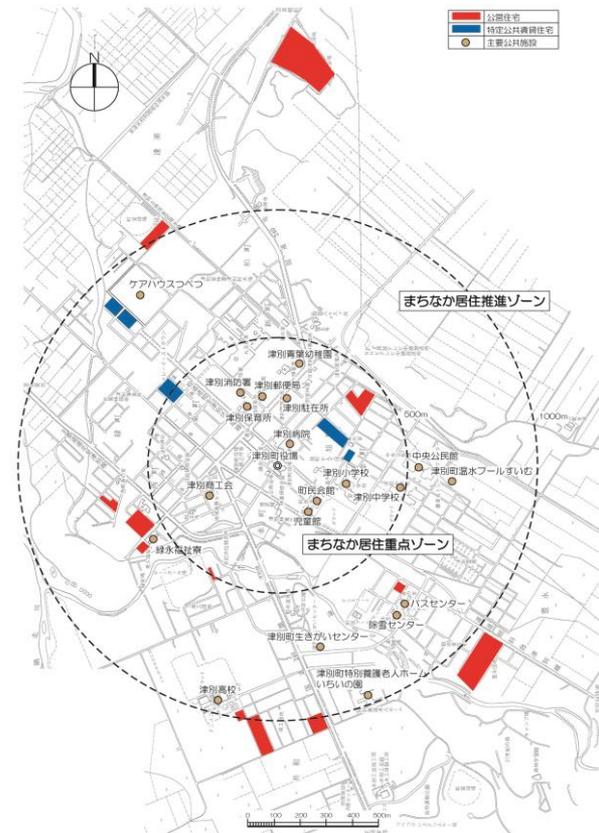
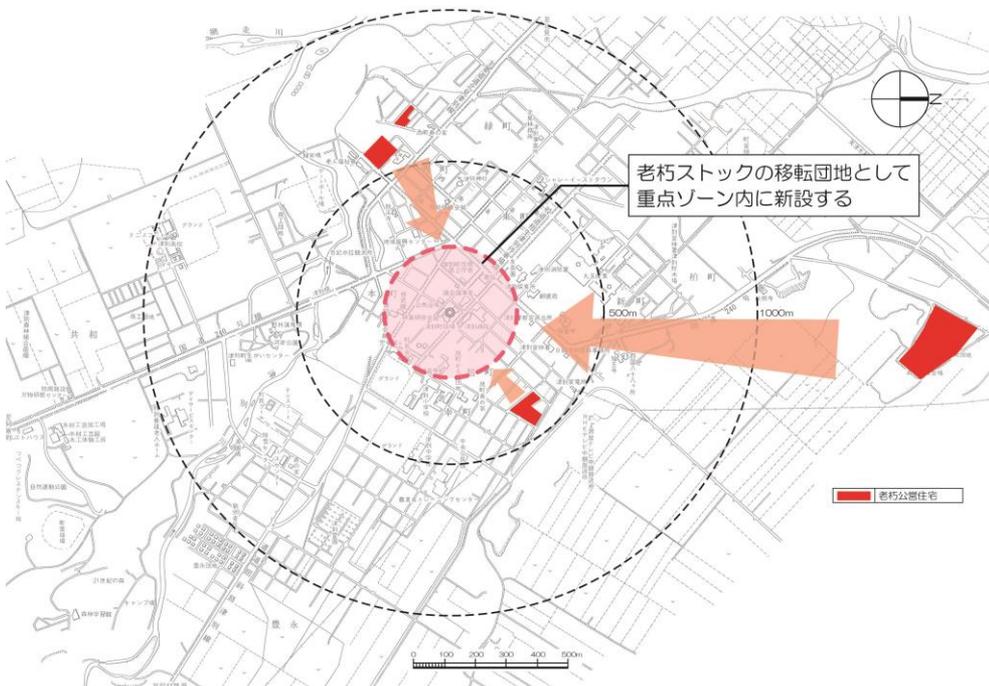
事例②

まちなかへの公営住宅移転建替え

北海道津別町

公営住宅

【津別町住生活基本計画】



02. 導入想定機能 + 事例紹介

事例②

まちなかへの公営住宅移転建替え

北海道津別町

公営住宅

【津別町まちなか団地】



02. 導入想定機能 + 事例紹介

事例①	子ども室内遊戯施設「はれっぱ」	北海道南幌町	子ども
-----	-----------------	--------	-----



02. 導入想定機能 + 事例紹介

事例②

子ども活動センター あそび〜ば

北海道旭川市

子ども
スポーツ



02. 導入想定機能 + 事例紹介

事例③

ファミスポ・アップ

北海道鶴居村

スポーツ
健康増進



02. 導入想定機能 + 事例紹介

事例④

暮らしの安心センター

北海道沼田町

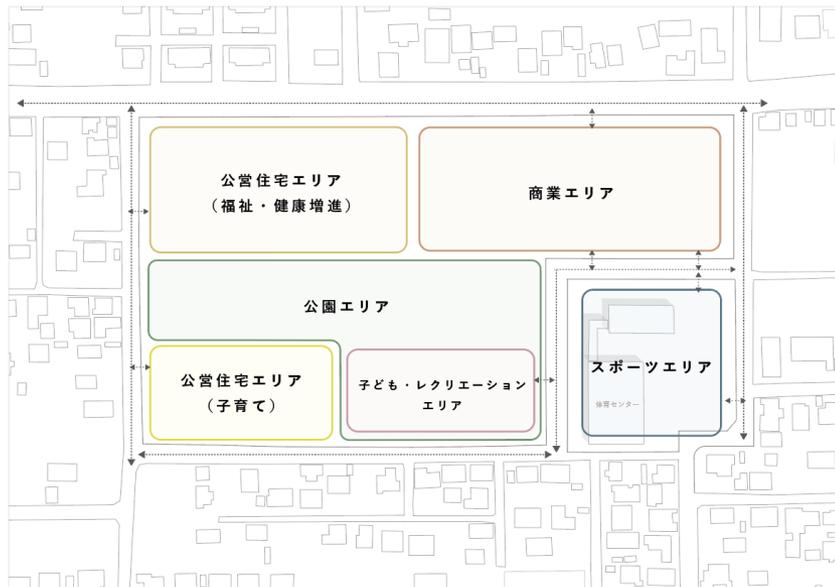
福祉
健康増進



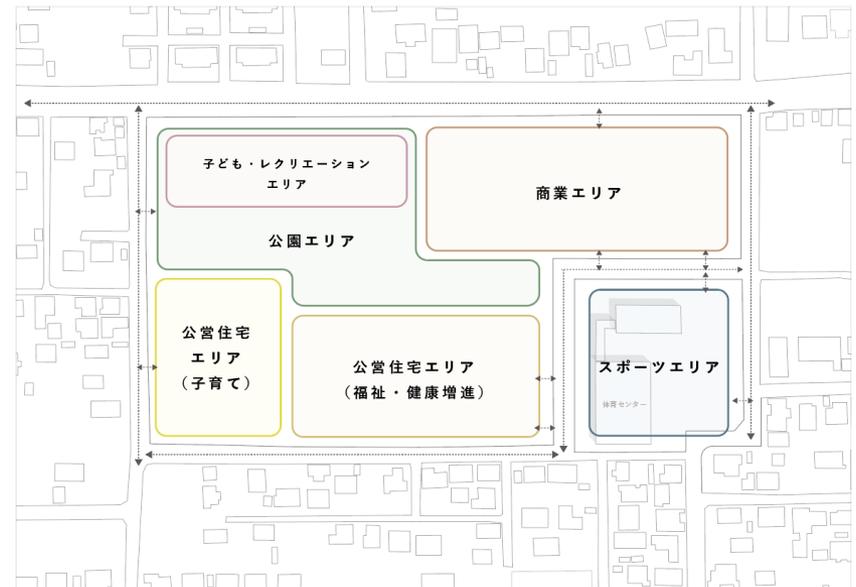
03.ゾーニングの方針について

方針1：敷地を分割せず、公園でつなげる

→ 各機能が公園を介して緩やかにつながるイメージ



ゾーニング案 1-1

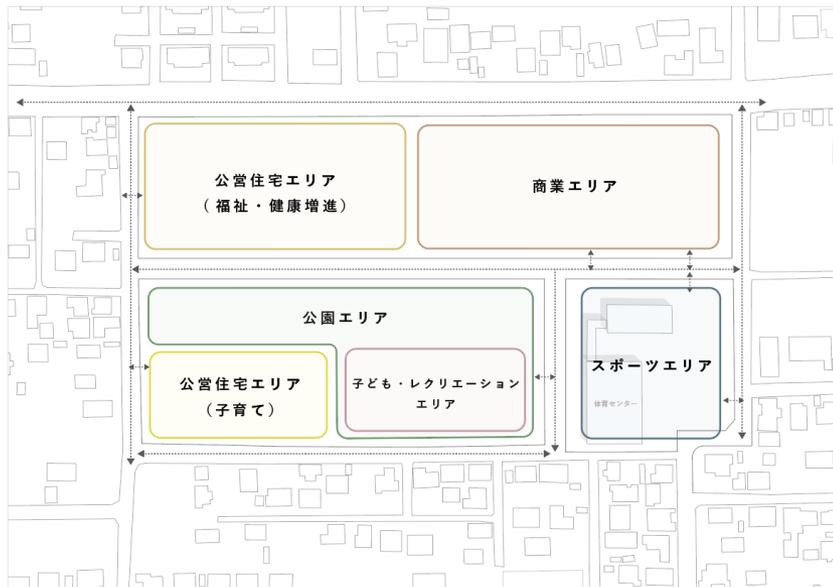


ゾーニング案 1-2

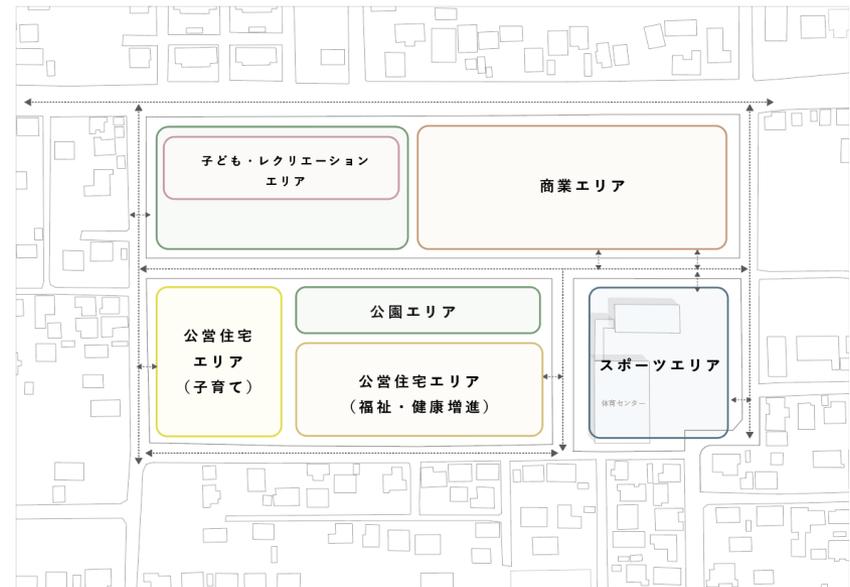
03.ゾーニングの方針について

方針2：敷地を分割し、道路を通す

→ 敷地内に車道を通しアクセス性を向上させるイメージ



ゾーニング案 2-1



ゾーニング案 2-2

04. ワークショップ

テーマ：旧美唄工業高校跡地の未来を考える

旧美唄工業高校跡地に建設予定の公営住宅を中心としたエリアについて、具体的な活動や場所のイメージを各グループ内でアイデアを共有しましょう

内容	備考
① 自己紹介（5分） グループ内で簡単な自己紹介をします。	名札を着用してください。
② あなたが考える具体的な活動や場所のイメージは？（60分） 2-1. 個人のアイデアを付箋に書きます。（10分） 2-2. それぞれが考えたアイデアについて模造紙に付箋を貼りながらグループで共有し、進行役の進行に基づいてアイデアを整理していきます（45分）	付せんは、1枚1アイデアのみ書きます。 付せんは沢山使用して構いません。
③ 全体発表（15分） 作成した模造紙を元に整理したアイデアを全体に共有します。	発表時間は各グループ5分程度です。
③ ワークショップ総括（5分） 北海道大学森教授より総括をいただきます。	

04. ワークショップ

- グループ1 -

進行役：北海道大学

(市民検討委員会)

4名

(美唄市職員)

1名

(北海道大学)

2名

- グループ2 -

進行役：北海道大学

(市民検討委員会)

4名

(美唄市職員)

1名

(北海道大学)

2名

05. 第3回市民検討委員会に向けて

□ 第3回市民検討委員会

日時：2023年10月27日（金） 14:30～

内容：詳細な敷地ゾーニングについて

本日のワークショップをもとに、
旧美唄工業高校跡地のより詳細なゾーニング
について作成した案をもとに議論する予定です。